



ステップスギャラリーオーナー、吉岡まさみ、三度目の個展。前回はカラード・パーシリーズ、前々回は下のギャラリー58 でテープインスタレーション、ステップスでは小品を展示したので、ステップスギャラリーにおけるテープインスタレーションは今回が初。吉岡はギャラリー内に《secret memory》(壁にデザインテープ/380×380 cm/2016年)を、入り口と事務所に《secret memory》(別名スクラッチ・ドロ잉)2016-1、2016-2(木にアクリル/60×45 cm/2016年)、2016-3~11(同/30×20 cm/同)を展示した。

立体にも浮いているようにも見えるが、卑近なテープが脆弱に、吉岡以外のスタッフによって貼り付けられているだけである。これだけで、今日の現代美術が果たすべき役割を担っていることが脅威である。吉岡は世の中にはびこる悪意から人間が生きるべき本質を、テープで覆い隠すようにしながらも暴き出している。見る行為を疑い、現実に対して熟考することを促している。それは自らが手を入れたスクラッチ・ドロ잉も、事務所にある20年前の版画も同様である。我々も現実と向き合わなければならない。

